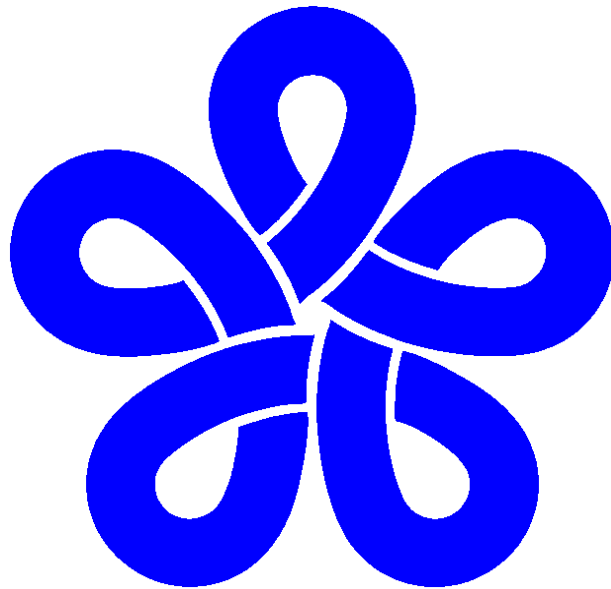


令和6年度

福岡県議会・大韓民国慶尚南道議会友好訪問団

報告書



令和7年3月26日～28日

福岡県議会

## 1 日程

令和7年3月26日（水）～3月28日（金）

## 2 参加者

香原 勝司 福岡県議会議長

藏内 勇夫 福岡県日韓友好議員連盟代表相談役

原口 剣生 福岡県日韓友好議員連盟会長

松尾 統章 福岡県議会友好議員連盟代表顧問、自由民主党福岡県議団会長

秋田 章二 福岡県議会ワンヘルス・地方分権等調査特別委員会委員長

中尾 正幸 福岡県議会議員

中牟田伸二 福岡県議会議員

川端 耕一 福岡県議会議員

大田 満 福岡県議会議員

笠 和彦 福岡県議会議員

横尾 政則 福岡県議会議員

波多江祐介 福岡県議会議員

佐々木 徹 福岡県議会議員

福岡県議会国際交流コーディネーター

同行（随行） 福岡県議会事務局副理事ほか2名

## 3 行程

「大韓民国慶尚南道議会友好訪問団 日程表」のとおり

#### 4 訪問・視察先

- ① 国立大田顕忠院 弔問
- ② 韓日親善協会中央会 表敬訪問
- ③ 慶尚南道議会 表敬訪問（※協定書および覚書締結）
- ④ 慶尚南道庁知事 表敬訪問（※中止）
- ⑤ 慶尚南道立美術館 視察

## (1) 国立大田顕忠院 弔問

### 行事概要

日時：令和7年3月26日（水）15：00～

場所：国立大田顕忠院

（大田広域市儒城区顕忠院路 251（甲東山 23-1））

### 施設概要

国立大田顕忠院は、護国英霊の永遠の安息の地として、1985年11月13日に竣工した国立墓地である。

1955年7月15日ソウル・銅雀洞に設立された国立墓地の収容能力が限界に達したことから、朴正熙大統領が地方への国立墓地設置の検討を指示し、1976年4月14日、忠清南道大徳郡儒城邑甲洞里（現在の大田広域市儒城区顕忠院路 251）の現所在地）に国立大田墓地を設置することを決定した。

これを受け、国防부는 1976年5月11日に地方国立墓地設置準備委員会を構成し、1979年4月1日から工事を本格的に着手し、1985年11月13日に総面積約 322 万㎡（97 万 4 千坪）の現在の国立大田顕忠院を竣工した。

ソウル顕忠院の埋葬能力が飽和状態に達したことに伴い開発された国立大田顕忠院は、安息の地として自然環境が最大限に保全されるように開発され、特に全墓域を護国公園化することに重点が置かれた。

総敷地面積：3,309,553 ㎡

開園時間：夏季（3月～10月）06:00～18:00

冬季（11月～2月）07:00～18:00



## 境内案内図



(参考：国立大田頭忠院 HP より)

### 【報告事項】

福岡県議会と慶尚南道議会との友好交流協定締結（2012年）に尽力された韓日親善協会中央会の元会長・金守漢（キム・スハン）氏が令和6年12月に逝去されたことを受け、福岡県議会から香原勝司議長および原口剣生会長らが訪問団を代表して同氏の墓所を訪問し、国立大田頭忠院において献花を行ったことは、故人の長年にわたる日韓友好への貢献に対し、深い敬意と感謝の意を表す意義ある取り組みであった。

金守漢氏は、2012年の友好交流協定締結時（当時の福岡県議会議長は原口剣生氏）に韓日親善協会中央会会長を務められ、民間交流を通じた相互理解の促進に尽力されるなど、両地域の友好関係の発展に大きな役割を果たされた。

故人の取り組みは、行政間の交流を支えるだけでなく、両国の人々が互いを理解し、信頼関係を築いていくことの重要性を示すものであり、その功績は現在の福岡県と慶尚南道との交流の礎として、今なお受け継がれている。

## 【所見】

今回、福岡県議会の香原勝司議長および原口剣生会長らが訪問団を代表して国立大田顕忠院を訪問し、献花を行ったことは、故人の長年にわたる日韓友好への貢献に対し、深い敬意と感謝の意を表すものであるとともに、これまで築かれてきた両地域の友好の絆を改めて確認し、その思いを次世代へ継承していく重要な機会となった。

金守漢氏のように、民間の立場から両国の架け橋となった先人の努力と精神を受け継ぎ、地域間交流を継続・発展させていくことは、将来にわたる日韓関係の安定と、さらなる相互理解・友好交流の推進につながるものと考えている。





## (2) 韓日親善協会中央会 表敬訪問

### 行事概要

日 時：令和7年3月27日（木）10：50～

場 所：韓日親善協会中央会

応対者：金泰煥（キム・テファン） 理事長  
金賢明（キム・ヒョンミョン） 監事  
高漢碩（コ・ハンソク） 理事  
朴相圭（パク・サンギユ） 在日韓国人本国投資協会副会長  
玉経根（オク・キョンクン） 事務局長

### 団体概要

設 立：1977年

設立目的：韓日基本条約の精神に基づき、両国の人々の交流を通じて友好を促進している。相互理解と協力を促進することで、両国の平和と繁栄に貢献することを目指している。

設立の経緯：1975年に設立された日韓・韓日議員連盟は、両国国民間の理解と協力の促進および友好増進のため、「草の根の民間外交窓口」が切実に必要であるという認識のもと、日韓・韓日親善協会を結成することに合意し、1976年に日本全国に47の都道府県親善協会と1つの中央会を結成し、韓国内では、1977年11月22日の中央会設立を皮切りに、特別市、広域市、各道の商工会議所に地方親善協会を結成し、市・道商工会議所の会長が地方親善協会の会長を兼任するようにした。

1986年7月、外交通商部より社団法人設立の許可（第188号）を受けた。

基本的な活動方針：

- ① 日韓両国の親善協会を中核として民間交流を拡大・強化し、政府の外交政策を側面から支援する
- ② 地域間および職能団体間の姉妹提携の拡大推進および交流の活性化を通

- じ、相互協力体制を構築する
- ③ 日韓両国間の青少年交流、文化・スポーツ交流の拡大推進により、未来志向的な両国関係を構築する
  - ④ 親善協会を通じた民間レベルの協力体制の強化により、日韓両国の経済協力基盤を造成・拡大する
  - ⑤ 日本国内の各種親善協会および友好団体の訪韓団を招致し、安保施設、工業施設、歴史関連施設の見学を斡旋することで、日本国民に正しい韓国観を確立させる
- (参考：韓日親善協会中央会 HP より)

## 金 泰煥（キム・テファン） 会長略歴

生年月日：1943年9月24日

学歴：2003 ソウル大学校 大学院 修了

1984 延世大学校 行政大学院 修了

1965 延世大学校 行政大学院 修了

1961 延世大学校 政治外交学 学士

経歴：

2024.4～現在 韓日親善協会中央会 会長

2023.4～2024.4 韓日親善協会中央会 会長代行

2018.4～現在 五常教育財団 理事長

2017.3～2023.4 韓日親善協会中央会 理事長

2016.7～2017.3 韓日親善協会中央会 副会長

2013.3～2014.5 第19代 国会 安全行政委員会 委員長

2012.11～2016.5 韓日議員連盟 会長代行

2012.7～2013.3 第19代 国会 行政安全委員会 委員長

2012.5～2016.5 第19代 国会議員（慶北 亀尾市乙/セヌリ党）

2012.2～2014.1 セヌリ党 中央委員会 議長

2009.7 ハンナラ党 慶尚北道党 運営委員長

韓日議員連盟 首席 副幹事長, 運営委員長



2008.5～2012.5 第 18 代 国会議員（慶北 亀尾市乙/ハンナラ党）

2005.11 ハンナラ党 第 1 事務副総長

2004.5～2008.5 第 17 代 ハンナラ党 国会議員

2000.8～2003.12 錦湖 P&B 科学 代表理事 社長

1992.10 ASIANA 航空 副社長

（参考：韓日親善協会中央会 HP より）

### 【報告事項】

韓日親善協会中央会を訪問し、金泰煥（キム・テファン）会長と面談のうえ、意見交換を行った。面談では、これまでの福岡県議会と同協会との交流の経緯を振り返るとともに、昨今の国政の不安定な状況の中においても、地方レベルにおける人的交流や信頼関係の重要性について認識を共有した。

本面談を通じて、国家間関係に左右されにくい地方自治体間の継続的な交流が、日韓関係の安定と相互理解の基盤となることを改めて確認した。

今後こうした草の根レベルの交流を着実に積み重ねていくことの意義は大きいと考える。

### 【所見】

今回の訪問を通じ、日韓両国の関係が国政レベルの情勢に影響を受ける中であっても、地方自治体や民間による継続的な交流が、相互理解の促進と信頼関係の構築に果たす役割は非常に重要であることを改めて認識した。

これまで福岡県議会と同協会が積み重ねてきた交流は、地域間の友好関係を深めるだけでなく、将来にわたる日韓関係の安定を支える基盤となるものである。

特に、人的交流を通じた顔の見える関係づくりは、国際情勢の変化に左右されにくい、持続的な友好関係の形成につながるものと考えられる。

今後も、行政・議会・民間が連携し、草の根レベルでの交流を着実に継続していくことが、日韓双方の理解促進と信頼醸成に大きく寄与するものと感じた。





### (3) 韓日親善協会中央会主催意見交換会

#### 行事概要

日 時：令和7年3月27日（木）11：45～

応対者：金泰煥（キム・テファン） 理事長

金賢明（キム・ヒョンミョン） 監事

高漢碩（コ・ハンソク） 理事

朴相圭（パク・サンギユ） 在日韓国人本国投資協会副会長

玉経根（オク・キョンクン） 事務局長

#### 【報告事項】

同協会主催の意見交換会が開催され、金泰煥（キム・テファン）会長、金賢明（キム・ヒョンミョン）監事、高漢碩（コ・ハンソク）理事をはじめ、計5名が出席した。意見交換会では、これまでの交流の歩みを振り返るとともに、今後の友好交流のさらなる発展に向けた意見交換が行われた。

席上、香原議長は「長年にわたり交流の礎を築いてこられた関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。福岡県議会としても、今後さらに友好交流の精神を大切にしながら、未永く交流を重ねていきたい」と述べた。

和やかな雰囲気の中で懇談が進められ、相互理解と信頼関係の一層の深化に向け、今後も継続して交流を推進していくことを確認した。長年にわたり培われてきた信頼関係は、単なる交流事業の枠を超え、両地域の相互理解を深めるとともに、日韓両国の友好関係を支える重要な基盤となっていることを改めて認識する機会となった。

#### 【所見】

今回の懇談を通じ、福岡県議会としても、これまで先人が築いてきた交流の礎を大切にしながら、行政・議会・民間が連携し、草の根レベルでの交流を着実に継続していくことの重要性を改めて認識した。国際情勢が変化する中であっても、地方議会間や地域間での継続的な交流は、相互理解の促進と信頼関係

の構築に大きく寄与するものであり、両地域の友好関係を支える重要な基盤となるものである。今後も、これまで培われてきた人的・文化的なつながりを大切にしながら、交流をさらに発展させ、両地域の相互理解と信頼関係の一層の深化につなげていくことが期待される。



#### (4) 慶尚南道議会 表敬訪問

##### 行事概要

日 時：令和7年3月28日（金）10：00～

場 所：慶尚南道議会

応対者：崔學範（チェ・ハクボム） 議長

陳相洛（ジン・サンラク） 韓日親善議員連盟 会長

朴 仁（パク・イン） 韓日親善議員連盟 副会長

崔東元（チェ・ドンウォン） 韓日親善議員連盟 副会長

李永洙（イ・ヨンス） 韓日親善議員連盟 議員

李在斗（イ・ジエドゥ） 韓日親善議員連盟 議員

李春徳（イ・チュンドク） 韓日親善議員連盟 議員

鄭雙鶴（チョン・サンハク） 韓日親善議員連盟 議員

尹成恵（ユン・ソンヘ） 慶尚南道議会事務所長

##### 慶尚南道概要

世帯数：1,525,337 世帯（3,340,470 人）

有権者数：約 280 万 4 千人

面積：10,542,62 km<sup>2</sup>

行政区域：8 市、10 郡、5 行政区、305 邑面洞

議員数：64 名（うち地域区議員 58 名、比例代表議員 6 名）

慶尚南道議会は 1952 年 5 月 20 日に、60 人の都議会議員で構成された初代議会を開会し、現在、第 12 代議会（2022～2026 年）が開会している。

議長 1 名と副議長 2 名を無記名により選出し（任期 2 年）、現在は崔學範（チェ・ハクボム）議員が第 12 代後半期議長を務める。

各種の議案を専門的かつ効率的に審査するため、専門分野別に 7 つの常任委員会を設置。また、特定の政策や案件を議決するために設置された予算決算特別委員会、倫理特別委員会がある。

## 崔學範 (チエ・ハクボム) 議長略歴

氏名：崔學範 (チエ・ハクボム)

出身地：慶尚南道 金海市

選挙区：金海第1区

政党：国民の力



経歴：

- 現 第12代 慶尚南道議会  
後半期議長 (2024年7月～)
- 現 「国民の力」 慶尚南道党 副委員長
- 第12代 慶尚南道議会 前半期 第1副議長
- 第20代 大統領選挙  
尹錫悦候補組織本部 (金海甲) 委員長
- 第20代 大統領選挙 「国民の力」 金海甲 疎通委員長
- 「国民の力」 慶尚南道党 教育委員長
- 第10代 慶尚南道議会 前半期 教育委員長
- 金海中部警察署 治安政策 評価委員長

(参考：慶尚南道議会 HP より)

## 【報告事項】

慶尚南道議会の崔學範（チェ・ハクボム）議長を表敬訪問するとともに、2012年に締結した友好交流協定の発展的継承を図るため、ワンヘルス分野での協力を盛り込んだ新たな覚書を締結した。

崔學範議長（慶尚南道議会）は、福岡県議会一行の訪問を歓迎するとともに、2006年の交流開始及び2012年の友好交流協定締結以来、両議会が友好関係を深めてきた経緯に言及した。特に、当時協定締結に尽力した原口剣生福岡県日韓友好議員連盟会長への謝意を表した。

また、今回の協定更新は交流分野の拡大と具体化を図るものであり、工業・産業面で共通点を有する福岡県と慶尚南道の発展に資する重要な基盤になるとの期待を示し、今後の交流促進と連携強化に向けて両議会が中心的役割を果たすことへの期待を述べた。

香原勝司議長（福岡県議会）は、慶尚南道で発生した大規模山火事の被災者へのお見舞いと哀悼の意を表した上で、慶尚南道議会関係者の歓迎に感謝を述べた。

また、2012年の友好交流協定締結以来の継続的な交流や昨年の慶尚南道議会訪福について振り返り、両地域の友好関係の深化を評価した。

さらに、今回新たに「ワンヘルス」分野における交流覚書を締結する意義を強調するとともに、藏内勇夫代表相談役をはじめ関係者への謝意を表明した。覚書締結は両議会の持続可能な協力関係構築に向けた歴史的な一歩であり、今後も友好関係を一層発展させていく考えを示した。

藏内勇夫代表相談役（福岡県日韓友好議員連盟）は、山火事被災者へのお見舞いと慶尚南道議会の歓迎に感謝を述べた後、相互訪問を重ねることによる交流の意義を強調した。また、獣医師として長年推進してきたワンヘルス分野において、今回の覚書締結が実現したことへの喜びを表明するとともに、アジア獣医師会連合及び慶尚南道獣医師会関係者の協力を謝意を示した。

さらに、2016年の「福岡宣言」以降、福岡から世界へ発信してきたワンヘルスの取組を今後さらに国際的に展開していく考えを示し、気候変動をはじめとする地球規模課題への対応や人材育成、普及啓発の推進に向けて、今回の覚書が両地域の連携を強化する重要な契機となることへの期待を述べた。

その後の意見交換では、チェ・ドンウォン韓日議員連盟副会長から、福岡県議会との交流への謝意が述べられるとともに、ワンヘルス推進に当たり慶尚南道議会が果たすべき役割について助言を求める発言があった。

これに対し藏内会長は、ワンヘルスは人・動物・植物の健康を支える地球環境そのものの健全性を重視する考え方であり、環境破壊や気候変動、さらにはCOVID-19のような新興感染症とも深く関わる重要な理念であると説明した。

また、ワンヘルスはWHO、WOAH（旧OIE）、FAOをはじめとする国際機関やG7でも推進されており、日中韓首脳会談でもその重要性が確認されていることを紹介した。特に福岡県の取組の中で国際的に高い関心を集めているのが学校教育であり、小学校から高校まで体系的なワンヘルス教育を実施していることを説明した。その上で、慶尚南道においても学校教育を通じて次世代への普及を進めることが、ワンヘルス推進の大きな力になるとの提案がなされた。

これを受け、チェ韓日議員連盟副会長は、自身が教育常任委員会に所属していることに触れ、現在取り組んでいるカーボンニュートラルや環境問題に関する教育とあわせて、子どもたちへのワンヘルス教育の推進を検討したいと述べた。

また、韓国では大韓獣医師会、疾病管理庁、保健福祉部が連携して環境問題に取り組んでいることや、環境に配慮した製品を認証する制度についても紹介された。

さらに藏内会長は、福岡県から始まったワンヘルスの取組が日本国内で大きく報道されていることに触れ、慶尚南道が教育分野でワンヘルスを推進すれば、韓国国内へ普及する契機となる可能性があるとの期待を示した。

これに対し慶尚南道議会議員からは、関係機関と連携しながら前向きに検討していきたいとの発言があった。

続いて秋田委員長は、ワンヘルスは人類にとって不可欠な理念であると述べ、COVID-19により福岡県で4,700人が亡くなり、2兆3,000億円の経費のうち、医療費だけでも5,000億円の対応予算を要した経験を踏まえ、将来的な感染症の流行を防ぐためにも公衆衛生の向上と予防の重要性を強調した。その上で、地理的にも近接する福岡県と慶尚南道が連携し、ワンヘルスの理念の深化と公衆衛生の向上に取り組むことへの期待を表明した。

## 【所見】

福岡県議会と慶尚南道議会は、2006年からの交流及び2012年の友好交流協定を基盤として、長年にわたり良好な関係を維持してきたことが確認できた。

さらに、今回新たにワンヘルス分野での協力を盛り込んだ覚書を締結したことは、従来の友好交流をさらに発展させ、具体的な政策分野における連携へと深化させる重要な契機であると評価できる。

特に、ワンヘルスの理念は、人・動物・環境の健康を一体的に捉えるものであり、感染症対策や気候変動への対応など、国境を越えた課題の解決に資する取組として国際的な重要性が高まっている。福岡県がこれまで培ってきた知見や取組を慶尚南道と共有し、人材育成や普及啓発、専門機関との連携を推進することは、両地域の発展のみならず、東アジア地域におけるワンヘルス推進にも寄与するものと考えられる。

続く意見交換の中でも、福岡県議会側から、ワンヘルスが人・動物・植物及び地球環境を一体的に捉える国際的な理念であり、感染症対策や環境問題への対応に不可欠であることが説明された。

また、福岡県が先進的に取り組む学校教育を通じたワンヘルスの普及が紹介され、次世代育成の重要性が強調された。

これに対し、慶尚南道側からは、教育分野におけるワンヘルス導入への前向きな姿勢が示されるとともに、獣医師会や関係行政機関との連携の下で検討を進める意向が表明された。

特に教育常任委員会所属議員から具体的な関心が示されたことは、今後の制度化や事業展開につながる可能性を感じさせるものであった。

さらに、COVID-19による甚大な人的・財政的影響を踏まえ、公衆衛生の向上と感染症予防の観点からワンヘルスの重要性が改めて共有され、地理的に近接する福岡県と慶尚南道が連携して取組を深化させる必要性について認識が一致した。

以上から、本表敬及び協定締結式は、ワンヘルスを共通テーマとした相互理解と協力関係の強化に資する有意義な機会となり、特に教育分野を起点とした慶尚南道でのワンヘルス普及に向けた具体的な展望が得られた点で大きな成果があったと評価される。



慶尚南道議会の皆様





協定書及びワンヘルス分野に関する覚書締結



## (5) 慶尚南道庁 知事表敬訪問 ※中止

### 【報告事項】

訪問直前の3月21日から発生した慶尚南道山清郡における山火事災害への対応により、被害が広域に拡大し、現地では災害対策本部を中心とした緊急対応が継続して行われていた。そのため、慶尚南道の知事および副知事は現場指揮および救援調整に専念せざるを得ない状況となり、道庁としての対外対応が困難となった。この影響を受け、訪問に合わせて予定されていた知事表敬訪問についても急きょ中止が決定された。

これを受け、続いて予定されていた慶尚南道議会主催の意見交換会の開始時刻を繰り上げて実施した。

## (6) 慶尚南道議会主催意見交換会

日 時：令和7年3月28日（金）11：45～

場 所：韓定食「金剛山」

応対者：崔學範（チェ・ハクボム） 議長 ほか

### 【報告事項】

慶尚南道昌原市内において、慶尚南道議会主催による意見交換会が開催された。意見交換会には、慶尚南道議会崔學範（チェ・ハクボム）議長に加え、協定式に引き続いて韓日親善議員連盟の陳相洛（ジン・サンラク）会長をはじめとする議員6名が参加した。

## (7) 慶尚南道立美術館視察

日 時：令和7年3月28日（金）13：00～

場 所：慶尚南道立美術館

### 【報告事項】

知事への表敬訪問が中止となったため、慶尚南道の案内により、慶尚南道立美術館を視察した。

視察では、館長および展示担当者から、美術館の設立趣旨や沿革、企画展の概要について説明を受けた。また、展示作品ごとに、その制作背景や選定理由、歴史的・文化的意義について解説を受けた。

特に、日本にゆかりのある作家に関する説明では、作家の生涯や創作活動の特徴に加え、作品が日韓両国の文化交流に果たしてきた役割についても紹介された。さらに、地域レベルにおける美術館相互の連携や文化交流の取組について説明を受けた。

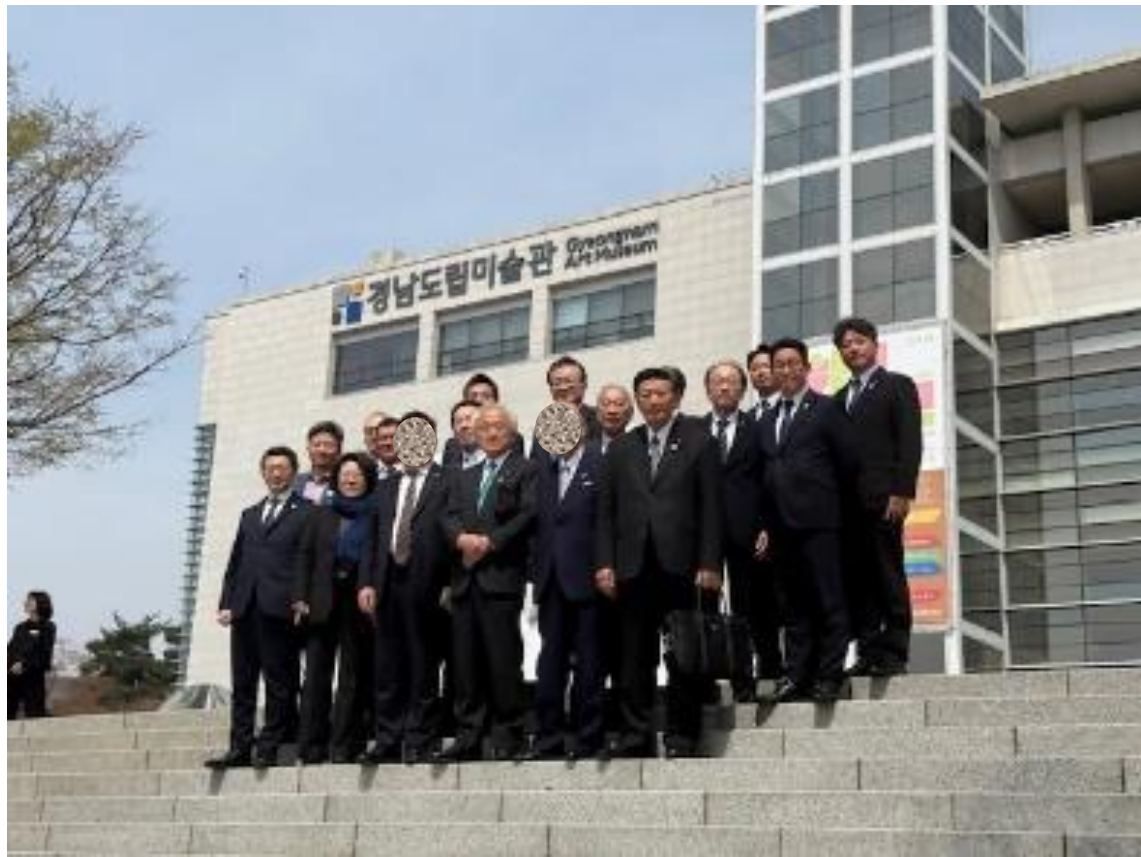
### 【所見】

この視察では、美術館の設立経緯や運営方針、企画展の内容について理解を深めるとともに、展示作品を通じて地域の歴史や文化への理解を深める機会となった。

特に、日本にゆかりのある作家や作品に関する解説からは、芸術活動が日韓両国の文化交流や相互理解の促進に果たしてきた役割について学ぶことができた。また、作品の背景や選定理由に関する説明を通じて、美術作品が単なる鑑賞対象にとどまらず、歴史や社会、人々のつながりを伝える文化資源として重要な役割を担っていることへの理解を深めた。

さらに、地域間における美術館同士の交流や文化協力の取組について説明を受け、地方自治体レベルにおいても継続的な国際交流が行われていることを確認した。文化・芸術分野における交流は、相互理解や友好関係の醸成に資するものであり、その意義を改めて認識する機会となった。

以上から、本視察は慶尚南道の文化的特色や芸術活動に対する理解を深めるとともに、日韓両地域における文化交流の重要性を再確認する有意義な機会となった。今後も文化・芸術を通じた交流の継続により、相互理解と友好関係のさらなる発展が期待される。





## ◆訪問団長コメント

訪韓後すぐに、韓日親善協会中央会元会長である故・金守漢氏の墓前を訪れ、哀悼の意を捧げました。故人が日韓両国の友好発展に多大な貢献をされたご功績を偲ぶとともに、先人から受け継いだ交流の絆を次世代へ確実に継承していく責任を改めて胸に刻んだところです。

今回、2012年に慶尚南道議会との間で締結した友好交流協定の精神を継承し、新たにワンヘルスの推進に関する覚書（MOU）を締結することができたことは、本訪問における大きな成果でありました。私自身も調印者の一人としてその任を担ったことで、両地域の未来を見据えた協力関係をさらに深化・発展させていく責任の重さを改めて実感しました。

韓日親善協会中央会及び慶尚南道議会の要人との意見交換を通じ、日韓関係を取り巻く環境が変化する中であっても、自治体や議会をはじめとする地域間・人的交流を継続していくことが相互理解と信頼関係の深化に不可欠であるとの認識を共有するとともに、長年にわたり築かれてきた人的ネットワークや草の根交流が両国関係を支える重要な基盤であることを改めて確認しました。

また、人・動物・環境の健康を一体的に捉える「ワンヘルス」の理念について認識を共有し、感染症対策や気候変動への対応、人材育成など幅広い分野における今後の連携の可能性を確認するとともに、その理念を社会全体に浸透させるためには学校教育をはじめとする普及啓発活動が重要であり、その推進において自治体や議会が果たす役割の重要性について理解を深めることができました。

今後、慶尚南道との間では、長年にわたり築いてきた友好交流の歴史を大切に継承しながら、新たな協力分野であるワンヘルスを加えることで、福岡県議会と慶尚南道議会との関係を、より実効性のある持続的な協力関係へと発展させていきたいと考えています。引き続き、人的・教育・文化交流を一層推進するとともに、ワンヘルス分野における具体的な連携の実現に向けた取組を進めることで、両地域の持続的な発展と友好関係のさらなる深化につなげていきます。

#### ◆参加議員コメント

今回の訪問の最大の成果である友好交流協定及び覚書の締結は、福岡県議会と慶尚南道議会との長年にわたる友好関係をさらに深化させるとともに、新たに「ワンヘルス」という共通理念の下、未来志向の具体的な協力関係を構築していく重要な契機となった。

また、議会及び自治体間における継続的な交流と人的ネットワークが、日韓両地域の相互理解と信頼関係を支える重要な基盤であることを改めて実感することができた。

今後は、今回確認した連携の可能性を具体的な取組へと発展させるとともに、学校教育をはじめとするワンヘルスの普及・啓発の推進や、議会・地域間における継続的な交流の充実に取り組むことで、両地域の協力関係を一層発展させ、持続的な交流と連携の強化に努めていきたい。

## 大韓民国慶尚南道議会友好訪問団 日程表

	月日	時間	行程	交通手段
1	3/26 (水)	8:30	福岡空港集合	航空機
		10:30	福岡空港発	
		12:00	ソウル・仁川国際空港着	専用車
		15:30	国立大田顕忠院	
		19:00	ホテルチェックイン	
		19:30	夕食	
			(ソウル市内泊)	
2	3/27 (木)	10:20	ホテル発	専用車
		10:50	韓日親善協会 表敬訪問、意見交換会	
		13:58	ソウル駅 発	KTX35
		16:34	釜山駅 着	
		17:00	ホテルチェックイン	
		18:30	夕食	
			(釜山市内泊)	
3	3/28 (金)	9:00	ホテル発 慶尚南道 (昌原市) へ移動	専用車
		10:00	慶尚南道議会表敬訪問、協定締結式	
		11:30	慶尚南道庁 知事表敬	
		12:30	慶尚南道議会主催 意見交換会	
		14:30	慶尚南道 (昌原市) 発	専用車
		16:00	釜山・金海空港着	
		18:00	釜山・金海空港発	航空機
		18:50	福岡空港着	